＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	木美だんらんの家
グループの名称	吉備の家造り研究会
直近採択グループ番号	06-0769-0617

（グループ代表者）

代表者名	萩原　徳義　代表者印
代表者所属先	倉敷トーヨー住器株式会社
代表者所在地	岡山県岡山市南区植松
代表者電話番号	086-362-3855

（グループ事務局）

事務局事業者名	倉敷トーヨー住器株式会社
事務局担当者名	東　章博　印
事務局郵便番号	710-0151
事務局所在地	岡山県岡山市南区植松550番地の3
事務局電話番号	086-362-3855
事務局FAX	086-362-3857
事務局担当者E-mail	kurashiki-tj.one@watch.ocn.ne.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	木美だんらんの家
２．グループの名称(必須)	吉備の家造り研究会
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0769-0617
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	岡山県全域
５．結成年(必須)	2016　年
６．グループ代表者名(必須)	萩原　徳義
７．グループ代表者の所属先(必須)	倉敷トーヨー住器株式会社
８．グループ代表者所在地(必須)	岡山県岡山市南区植松
９．グループ代表者電話番号(必須)	086-362-3855
１０．グループ事務局事業者名(必須)	倉敷トーヨー住器株式会社
１１．グループ事務局担当者名(必須)	東　章博
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	710-0151
１３．グループ事務局所在地(必須)	岡山県岡山市南区植松550番地の3
１４．グループ事務局電話番号(必須)	086-362-3855
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	086-362-3857
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	kurashiki-tj.one@watch.ocn.ne.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	4	構成員ではない海外の原木業者から供給する為
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	12	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	5	
Ⅳ．プレカット	2	
Ⅴ．設計	3	
Ⅵ．施工	5	
Ⅶ．木材を扱わない流通	2	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	■　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	■　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	■　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	■　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外
	岡山県産材	岡山県	合法木材証明制度	3	国内

B．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上））の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限125万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限125万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限140万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限140万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	棟	
			㎡	
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	棟	
			㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	希望施工業者による抽選（契約確定物件優先）

E．平成２９年度の執行状況（必須）	長寿命型（長期優良住宅）									
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
	高度省エネ型（認定低炭素住宅）									
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	1	戸
	高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）									
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	1	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）									
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
	優良建築物型									
	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績（竣工予定含む）棟数	0	戸
	採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積	0	㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由
構成員ではない海外の原木業者から供給する為

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
33	Ⅰ － 4	有限会社 原木材工業所		716-1321	岡山県高梁市有漢町有漢２５７３番の１	0866-57-2074
33	Ⅰ － 6	岡山県森林組合連合会		700-0866	岡山県岡山市北区岡南町2丁目5番10号	086-222-7671
33	Ⅰ － 7	真庭木材市売株式会社		719-3203	岡山県真庭市富尾1番地	0867-42-0602
33	Ⅰ － 8	株式会社津山綜合木材市場		708-0011	岡山県津山市上田邑2880番地	086-828-7777
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅱ＞

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
33	Ⅱ － 4	有限会社 原木材工業所		716-1321	岡山県高梁市有漢町有漢２５７３番の１	0866-57-2074
34	Ⅱ － 9	中国木材株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷3丁目1番1号	0823-71-7141
34	Ⅱ － 10	東亜林業株式会社		729-0105	広島県福山市南松永町3-2-20	084-934-6717
33	Ⅱ － 11	銘建工業株式会社		717-0013	岡山県真庭市勝山1209番地	0867-44-2695
33	Ⅱ － 12	院庄林業株式会社		708-0013	岡山県津山市二宮22番地の1	0868-28-2111
33	Ⅱ － 13	山下木材株式会社		719-3203	岡山県真庭市富尾218番地	0867-42-1100
33	Ⅱ － 14	小林製材株式会社		719-3111	岡山県真庭市開田341	0867-52-1171
33	Ⅱ － 15	株式会社鈴鹿製材所		709-3717	岡山県久米郡美咲町原田1926	0868-66-0161
33	Ⅱ － 16	鳥越工業株式会社		719-3224	岡山県真庭市目木1813-1	0867-42-0613
33	Ⅱ － 17	有限会社山渋木材		709-3626	岡山県久米郡久米南町上神目395	0867-22-0840
33	Ⅱ － 18	株式会社タブチ		719-3103	岡山県真庭市古見1835番地の1	0867-42-0295
33	Ⅱ － 19	牧野木材工業株式会社		719-3205	岡山県真庭市草加部288-8	0867-42-4321
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
33	Ⅲ － 20	山佐産業株式会社		700-0942	岡山県岡山市南区豊成3丁目15番地25号	086-265-7667
40	Ⅲ － 21	黒田木材商事株式会社		811-2112	福岡県糟屋郡須惠町植木2047番地の73	092-936-5505
33	Ⅲ － 22	昌弘木材株式会社		710-0027	岡山県倉敷市西田688	086-482-1707
33	Ⅲ － 23	株式会社岡山木材相互市場		701-0221	岡山県岡山市南区藤田560	086-296-0306
33	Ⅲ － 24	株式会社勝山木材市場		717-0022	岡山県真庭市三田211	0867-44-2600
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
33	Ⅳ － 20	山佐産業株式会社		700-0942	岡山県岡山市南区豊成3丁目15番地25号	086-265-7667
40	Ⅳ － 21	黒田木材商事株式会社		811-2112	福岡県糟屋郡須惠町植木2047番地の73	092-936-5505
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2・Ｖ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
33	Ｖ － 1	株式会社 大村建設		710-0023	岡山県倉敷市帯高６３８番地の２	086-428-2576	○	
33	Ｖ － 3	有限会社 リバティック		716-0043	岡山県高梁市原田北町１１８０番地の１	0866-21-1223	○	
33	Ｖ － 4	有限会社 原木材工業所		716-1321	岡山県高梁市有漢町有漢２５７３番の１	0866-57-2074		○
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							5	○	○
33	Ⅵ - 1	78559	株式会社 大村建設		710-0023	岡山県倉敷市帯高638番地の2	086-428-2576	○	
33	Ⅵ - 2	78641	赤木創建 株式会社		710-0024	岡山県倉敷市亀山816－1	086-428-5808	○	
33	Ⅵ - 3	78667	有限会社 リバティック		716-0043	岡山県高梁市原田北町1180番地の1	0866-21-1223		○
33	Ⅵ - 4	78670	有限会社 原木材工業所		716-1321	岡山県高梁市有漢町有漢2573番の1	0866-57-2074		○
33	Ⅵ - 5	78520	サンヨー興産 株式会社		710-0151	岡山県岡山市南区植松550番地3	086-362-5630		○
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
33	Ⅵ － 1	78559	株式会社 大村建設	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
33	Ⅵ － 2	78641	赤木創建 株式会社	1 戸	2 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
33	Ⅵ － 3	78667	有限会社 リバティック	4 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
33	Ⅵ － 4	78670	有限会社 原木材工業所	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
33	Ⅵ － 5	78520	サンヨー興産 株式会社	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
33	Ⅶ － 25	倉敷トーヨー住器株式会社		710-0151	岡山県岡山市南区植松550番地の3	086-362-3855
33	Ⅶ － 26	有限会社ワタナベトーヨー住器		716-0061	岡山県高梁市落合町阿部783	0866-22-7644
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）木美だんらんの家	（地域型住宅供給対象地域）岡山県全域
2．グループの名称・結成年（必須）	（グループの名称）吉備の家造り研究会	（結成年）2016 年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号（必須）	06-0769-0617	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	岡山県の気候・風土に合った家造り考慮し、以下の性能を重視する、 【断熱性能含むパッシブ要素の追及】 ・断熱性能を重視し、建設地の当該省エネ区分において、ワンランク上の基準（UA値）をクリアする。 ・上記性能を遵守したうえで、一次エネルギー消費量を全物件において計算し、「低炭素基準」をクリアーする。 ・蒸暑地であることから、夏季日射取得率を基準値より20%以上の向上を目指す。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・年間日射量の比較的多い地域であることから、太陽光発電の効力は多く見込める地域であるため、「長寿命型」希望のユーザーには義務化はできないが、将来的に設置することを見込んだ屋根荷重強度および、設置を見込んだ設計は必須である。 ・岡山県の住宅取得年齢は全国的に見て低い傾向にある。裏返せば、長く住その家に住むことになるので、長寿命型（長期優良住宅）の必要性は必然的に高くなるとともに、加齢や家族構成の変化にも対応できる住宅が求められる。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・夏季に日射の侵入する大型開口部（W1600：H1100以上）には、外部日射遮蔽部材を設置することを推奨する。 ・また、冬季における日射取得も考慮し、開口部における硝子性能を方位により使い分ける。 ・地域特性を考慮し、外皮性能において、ηAHにも着目し、数値的にηACより大きくなるような設計を心がける。	◎
④ ①～③の背景	・岡山県南部の気候は瀬戸内海式気候であり、夏季には日中の気温は35°Cを超える猛暑・酷暑となり、また、瀬戸内特有の「凪」と呼ばれる現象により、夏季は特に不快な時間帯が多いため、快適に過ごすための工夫が必要である。 また、冬季においては、地元の人々は、「岡山は温暖地」という意識を強く持っているため、家の断熱性能にこだわりを示さないユーザーが多く、そのために、冬寒い思いをしてる場合が多く見受けられる。したがって、断熱性能においては、「施主の要望」に添うのではなく、設計者・施工者の価値基準を優先させることで、断熱性能、強いては一時消費エネルギー対策の向上を浸透させる必要がある 以上の事から、当グループにおいては、夏季・冬期の不快な季節を快適に過ごす家造りを基本コンセプトとする。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	地方創生の一環として、まず。郷土への愛着・誇りを持つことが必要である。また、近年の住宅購入者は30代・子育て世代が主役であることから、子供たちの成長とともに育つよう、県花である「桃の木」をシンボルツリーとして、希望者の敷地内へ植樹することとする。	○

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：木造軸組み工法に限定し、一般的なモジュールによる建築とする	◎
	①-2 使用建材の統一	■ 行っていない	□ 行っている→	内容：	
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：断熱性能強化をグループのルールとしているため、温熱環境に影響力の高い開口部の性能を、熱貫流率2.33以上の高性能サッシに限定(推奨)	○
	②-1 建材・資材調達の共同化	■ 行っていない	□ 行っている→	内容：	
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：取扱いメーカーを絞ることで、発注・見積業務の効率化及び、価格面での交渉を優位に進める体制を取っている。	○
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	■ 行っていない	□ 行っている→	内容：	
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容：施工グループ会員に会員相互の情報提供を促し、地場工務店として合理的な施工・経営ができるよう、アシストしていく。	○
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある →	内容：第3者機関による地盤補償のみ	○
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	■ ない	□ ある →	内容：	
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	■ ない	□ ある →	内容：	
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	■ ない	□ ある →	内容：	
c	① 週休2日制の導入の取組	□ ない	□ ある →	内容：人材確保が難しい中、働きやすい会社を目指す上で、会員内で未だばらつきはあるが、出来る限り導入を実施。先行企業が、トップランナーとして、遅れている会員へ意識変化を促進	○
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない	■ ある →	内容：技能に見合った報酬を正当に評価している。	◎
	③ 社会保険への加入	□ ない	■ ある →	内容：標準的に加入	◎
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	■ ある →	内容：安全確保は、各社必須事項として実施。健康の確保においては、健康診断受診を社員へ義務付けしている。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		123			

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）木美だんらんの家	（地域型住宅供給対象地域）岡山県全域
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）吉備の家造り研究会	（結成年）2016　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0769-0617	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：第3者機関に登録し、内容・蓄積を委託する	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：第3者機関に登録し、内容・蓄積を委託する	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：第3者機関にて設定されている確認手法の活用	◎
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：長期優良住宅申請に基づく点検の実施	◎
		②-2 補修の共通ルール	■ ない	□ ある →	内容：	
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：上記第3者機関により提供されている確認手法の活用	◎
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	■ ない	□ ある →	内容：各社の自主性の中で、実施	
		③-2 DIY体験会等の実施	■ ない	□ ある →	内容：各社の自主性の中で、実施	
		③-3 その他の相談会等の実施	■ ない	□ ある →	内容：各社の自主性の中で、実施	
	④	維持管理委員会等の設置	■ ない	□ ある →	内容：	
	⑤	その他の維持管理の手法	□ ない	■ ある →	内容：定期的な情報交換会の中で、情報提供・共有を行う	◎
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	■ ない	□ ある →	内容：	
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：定期的な情報交換会の中で、情報提供・共有を行う	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。						

エ．グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：事務局より、経験工務店への協力依頼及び、各関連ﾒｰｶｰへの問い合わせ等、適宜実施	◎
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：本適用申請書の内容遵守	◎
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：事務局により確認	◎
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容：年間目標の設定及び、進捗の確認	○
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：2020年の省エネ義務化に準じ、「長期優良住宅」の全棟採用	○
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	■ ない	□ ある →	内容：	
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　2		今年度の参加目標人数　3	○
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数　2		今年度の参加目標人数　2	○
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：講習会の日程を事務局より未受講者へ通知し、促進を図る	○
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容：ルールにおいては、省エネ基準の1ランクUPであるが、HEAT20におけるG1グレードを推奨	◎
	②	新たな技術等の開発	■ ない	□ ある →	内容：	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。						

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）木美だんらんの家	（地域型住宅供給対象地域）岡山県全域
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）吉備の家造り研究会	（結成年）2016 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0769-0617	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	当グループでは以下のいずれかに該当する地域材を使用する。また、すべてプレカット事業者によるプレカット材使用とすることで、使用量を明確に算定できるようにする。 ①『岡山県産材産地証明制度』もしくは『合法木材証明制度』による岡山県産材 ②『合法木材証明制度』による岡山県産材 ③『合法木材証明制度』による国内・海外産の合法木材	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：■ 使用していない　□ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	◎
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	発案 → 施工Ⅵ → PCⅣ → 流通Ⅲ → Ⅱ → 原木Ⅰ 流通Ⅶ → 施工Ⅵ → PCⅣ → 流通Ⅲ → Ⅱ → 原木Ⅰ 流通Ⅶ → 施工Ⅵ → PCⅣ → 流通Ⅲ → Ⅱ → 原木Ⅰ 施工Ⅵ → PCⅣ → 流通Ⅲ → Ⅱ → 原木Ⅰ 木材流通より声の掛からない自社取引先の技術向上の為 流通Ⅶ呼びかけ、取引先である施工Ⅵを主体とし、グループ結成。事務局は流通Ⅶから選出し、事務を行う。木材流通については、各施工業者Ⅵの既存流通に呼びかけ、グループへの参加と、関連資材の提供を頂く	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：施工業者による当該流通事業者へ情報提供とともに資材調達の可否を確認する	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	■ ない　□ ある →　内容：	
	② グループ全体における地域材の需給予測	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
c	①-1 畳の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-3 襖の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-4 障子の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：県花である「桃の木」をｼﾝﾎﾞﾙﾂﾘｰとして、希望者の敷地内へ植樹することとする	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：和室の要望のない施主においても、和室（畳）の持つ快適性や癒しの効果を、経験とともに伝え再考を促す。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	復興に貢献できる資材など、情報とともに提案を受けた場合、積極的に採用するよう心掛けていく	◎
平成28年熊本地震の復興に資する取組	同上	◎

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（高度省エネ型・優良建築物型のみ）　　＜様式３－４＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）木美だんらんの家	（地域型住宅供給対象地域）岡山県全域
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）吉備の家造り研究会	（結成年）2016 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0769-0617	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

ゼロエネルギー住宅においては、主体6地域（一部5地域）のエリアであるが、3地域基準であるUA値0.56の適応をめざす。
認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅においても、ゼロエネルギー住宅に求められる外皮性能をめざす。
蒸暑地であることから、夏場対策強化として、ηA値においては、28年基準値より、3割以上強化することとする。（高度省エネ型全般）
ηAC<ηAHとなるような設計を心がける「夏涼しく、冬暖かい」の実践の一部（根拠）として。

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。